



新刊書のお知らせ

1. 「水ビジネス—110兆円水市場の攻防」

世界の水がなくなる日

著者：吉村和就

発行：角川書店（角川新書）

定価：705円（税別）

ページ数：176頁

発行日：09年11月10日（火）

ISBN：4-04-710216-3



目次

はじめに

採取可能な水、「0.01%」の真実

【第1部】

第1章 世界を襲う「ウォーター・クライシス」

第2章 「バーチャル・ウォーター」——水輸入大国・日本

第3章 地球温暖化が水資源の枯渇をもたらす

【第2部】

第4章 イラク戦争は「水戦争」だった？

第5章 世界は水を巡る紛争・問題に溢れている

【第3部】

第6章 IBMが水ビジネスに乗り出した意味

第7章 水不足に商機を見出す海外「水メジャー」

第8章 新興国も続々参入「110兆円市場」の興亡

第9章 日本の上下水道の現状と課題

第10章 動き出した日本の産・官・学——「チーム水・日本」の役割

おわりに

ジョン・F・ケネディの「夢」は実現するか？

著者経歴

吉村和就 Kazunori Yoshimura
グローバルウォータージャパン代表、財団法人
テクノカルアドバイザー、千葉工業大学、
工學院 大学院 非常勤講師、日本を代表する
水環境問題の専門家、(S)北海道水
産物サミットでは、自民党の特命委員会
「水の安全保障研究会」の委員として提
言をまとめた。「水の安全保障戦略紀行」
技術普及委員長。

水ビジネス

—10兆円水市場の攻防—



吉村和就

グローバルウォータージャパン代表

水ビジネス —10兆円水市場の攻防—

吉村和就

角川Oneテーマ21

B-125

角川Oneテーマ21



9784047102163



1920295007050

ISBN978-4-04-710216-3
C0295 ¥705E

定価：本体705円(税別)

角川書店

本書のテーマ ビジネスになる水

今、世界で水の争奪戦が始まった
はたして日本は生き残れるか？

- ▼ 光は水輸入大国から日本
- ▼ 年昇一杯に水は0.01リットルが必要に
- ▼ イラク戦争は「水」をめぐる戦争だった
- ▼ 3社で世界の8割を独占する水メジャー
- ▼ 110兆円水市場に群がる海外企業
- ▼ 動き出した「テーマ水」日本では？

角川Oneテーマ21 好評既刊

- 人にいい仕事はなぜ儲かるのか？ 門倉貴史
- 「夜のオンナ」はいくら稼ぐか？ 門倉貴史
- 戦後日本は戦争をしてきた 藤中 小由緒一
- 女はなぜ突然怒り出すのか？ 門倉貴史
- わが国 アメリカの鏡・日本 ヘレン・ミアーズ
- 千年、續いてきました 野村 浩
—電線企業大隈コッポン—
- 歴代首相の経済政策 全データ 野村 浩

本シリーズのテーマ分類は次のとおりです。

- A……生きる
- B……楽しむ
- C……知る

CF CF
SMI 1022 0943

世界の水が なくなる日…

地球上のわずか0.01パーセントの水を
めぐって世界中がしのぎを削る

話題沸騰!

角川Oneテーマ21

定価：本体705円(税別)

B-125

吉村和就

角川Oneテーマ21

地球上にわずかに残された水をめぐり 世界中の企業がいっせいに動き出した

1989年時点の年間価格の上昇率は、石油は6.2パーセントで水は6.3パーセントであった。ところが20年後では石油の上昇は42.9パーセントで水は、わずか4.2パーセントである(石油は7倍だが、水はむしろ価格上昇率は低下している)。したがって今後20年以内に水は投資家にとり、最大の投資案件になるだろう。すでに水への投資は石油と売りより賢い選択になってきている。(本文より)

978-4-04-710216-3
水ビジネス
—10兆円水市場の攻防—